

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月31日

上場会社名 ツインバード工業株式会社
 コード番号 6897 URL <http://www.twinbird.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 野水 重勝
 (氏名) 太中 秀夫

TEL 0256-92-6111

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年3月26日～平成21年6月25日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,885	—	145	—	68	—	66	—
21年3月期第1四半期	3,019	8.0	157	—	228	38.1	226	△68.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	7.62	—
21年3月期第1四半期	25.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	7,299	3,587	49.2	411.06
21年3月期	7,555	3,528	46.7	404.26

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 3,587百万円 21年3月期 3,528百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	1.00	—	1.50	2.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	1.00	—	1.50	2.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年3月26日～平成22年3月25日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	5,840	2.7	140	△18.7	80	△51.8	60	△62.7	6.87
通期	12,500	2.5	370	△41.6	230	△30.1	180	△35.2	20.62

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	9,030,000株	21年3月期	9,030,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	301,500株	21年3月期	301,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	8,728,500株	21年3月期第1四半期	9,028,500株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、3ページ以降をご覧ください。
2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、景気悪化に下げ止まり感が出ているものの、雇用環境は未だ厳しく、個人消費については好転の兆しは見ておりません。また、家電業界は、販売価格の下落や業態を超えた競争状態によって厳しい環境が続いております。

このような環境の中で、当社の当第1四半期の売上高は2,885百万円となり、前年同期比133百万円(4.4%)の減収となりました。クリーナーや照明器具が低価格の輸入品との競合激化により売上が減少したことや景気低迷の影響により企業向けの特注案件が少なかったことによるものであります。

営業利益は145百万円となり、前年同期比11百万円の減益となりました。これは、原価低減活動の推進と円高の昂進による輸入コストの減少等により製造コストが減少となる一方、売上高の減少及び棚卸資産評価方法の変更により売上原価が27百万円増加したことによるものであります。

経常利益は68百万円となり、前年同期比160百万円の減益となりました。前第1四半期におきましては為替予約残高の時価評価による利益が大きく発生し、為替差益を110百万円計上しておりました。当第1四半期におきましては円高の影響により為替差損が48百万円発生しております。

当期純利益は66百万円となり、前年同期比159百万円の減益となりました。前第1四半期、当第1四半期ともに大きな特別利益・特別損失はなく、経常利益の変動により大きく減少しております。

なお、「経営成績に関する定性的情報」に記載の前年同期比の増減額(又は前年同期比の増減率)は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期の総資産は7,299百万円となり、前期末比256百万円減少いたしました。売上高の季節変動により受取手形及び売掛金が239百万円減少しております。また棚卸資産も削減活動の結果93百万円減少しております。

負債は3,711百万円となり、前期末比315百万円減少いたしました。短期借入金の減少300百万円が減少の主たる要因で、有利子負債は全体で前期末比309百万円減少しております。

純資産は3,587百万円となり、前期末比59百万円増加いたしました。これは当第1四半期純利益66百万円の計上によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは444百万円の収入となり、前年同期比482百万円の収入増加となりました。前第1四半期におきましては棚卸資産が217百万円増加となり、資金を圧迫しておりましたが、当第1四半期におきましては93百万円減少しております。これによりキャッシュ・フローが大きく改善しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは76百万円の支出となり、前年同期比23百万円の支出増加となりました。前第1四半期、当第1四半期ともに特別な設備投資、資産売却等はおこなっておらず、製品製造のために必要な金型に対する設備投資が主たる内容であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは324百万円の支出となり、前年同期比143百万円の支出増加となりました。営業活動によるキャッシュ・フローが大きく改善したため、有利子負債を大きく圧縮することができました。その他には配当金の支払額が11百万円発生しております。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は427百万円となり、前期末より30百万円増加いたしました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く環境は、国内景気の低迷の長期化に加えて低価格の輸入品との競合激化と引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況の中、当社は売上が牽引している防水AV機器や頭皮洗浄ブラシの新商品、売上が伸びている調理家電においては、オープントースターの新商品を投入いたします。さらに、売上が伸び悩んでいる照明器具では省エネを背景に次世代の光源として脚光を浴びているLED光源の卓上ライトの新商品を投入し、またクリーナーにおいては交流電源のスティック型クリーナーの新商品をそれぞれ投入いたします。これらの新商品を各販売チャネルの主要得意先へ効果的に導入し、当社が得意とする新生活需要を着実に取り込み、第2四半期以降の売上獲得の中核としてまいります。

これらの新商品投入により売上高の回復を図り、当初の計画を達成する見通しではありますが、未だ景気動向は不透明であり、また為替相場の動向も依然として不安定であります。当第1四半期の業績は堅調に推移しておりますが、業績予想は前期決算短信発表時（平成21年5月1日発表）に公表しました数値より変更ありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益は27,383千円減少し、経常利益及び税引前四半期純利益は1,849千円減少しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月25日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月25日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	682,046	651,714
受取手形及び売掛金	1,981,527	2,221,443
商品及び製品	1,534,934	1,608,856
仕掛品	199,699	195,064
原材料及び貯蔵品	166,829	188,287
その他	99,999	85,179
貸倒引当金	△3,671	△6,716
流動資産合計	4,661,365	4,943,829
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,465,135	3,464,065
減価償却累計額	△2,772,321	△2,758,670
建物（純額）	692,813	705,394
機械及び装置	974,555	974,555
減価償却累計額	△905,250	△903,313
機械及び装置（純額）	69,305	71,242
工具、器具及び備品	457,242	456,948
減価償却累計額	△400,096	△397,597
工具、器具及び備品（純額）	57,145	59,350
土地	1,229,569	1,229,569
建設仮勘定	46,014	18,105
その他	299,096	293,801
有形固定資産合計	2,393,945	2,377,463
無形固定資産	27,558	28,718
投資その他の資産		
投資有価証券	112,835	102,653
その他	103,716	102,871
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	216,511	205,485
固定資産合計	2,638,015	2,611,668
資産合計	7,299,380	7,555,497

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月25日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月25日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	551,502	615,796
短期借入金	1,280,000	1,580,000
1年内返済予定の長期借入金	329,377	329,176
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	5,467	4,647
未払法人税等	5,922	15,021
未払消費税等	26,333	16,883
賞与引当金	111,834	85,180
その他の引当金	2,925	3,165
その他	398,442	374,904
流動負債合計	2,751,804	3,064,775
固定負債		
社債	—	20,000
長期借入金	500,441	492,789
リース債務	19,409	17,445
退職給付引当金	287,597	283,036
役員退職慰労引当金	143,067	143,067
その他	9,094	5,810
固定負債合計	959,608	962,148
負債合計	3,711,413	4,026,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,742,400	1,742,400
資本剰余金	953,042	953,042
利益剰余金	921,491	868,065
自己株式	△37,308	△37,308
株主資本合計	3,579,625	3,526,199
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,342	2,374
評価・換算差額等合計	8,342	2,374
純資産合計	3,587,967	3,528,574
負債純資産合計	7,299,380	7,555,497

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年3月26日 至 平成21年6月25日)
売上高	2,885,557
売上原価	2,115,607
売上総利益	769,950
販売費及び一般管理費	624,485
営業利益	145,465
営業外収益	
受取利息	164
受取配当金	2,340
固定資産賃貸料	1,820
その他	6,258
営業外収益合計	10,583
営業外費用	
支払利息	11,293
手形売却損	1,139
売上割引	26,032
為替差損	48,311
その他	613
営業外費用合計	87,391
経常利益	68,657
特別利益	
固定資産売却益	394
その他	0
特別利益合計	395
特別損失	
固定資産処分損	0
投資有価証券評価損	21
減損損失	590
特別損失合計	611
税引前四半期純利益	68,440
法人税、住民税及び事業税	1,922
法人税等合計	1,922
四半期純利益	66,518

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年3月26日 至 平成21年6月25日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	68,440
減価償却費	61,814
減損損失	590
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,045
賞与引当金の増減額 (△は減少)	26,654
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,561
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△240
受取利息及び受取配当金	△2,505
支払利息	11,293
為替差損益 (△は益)	13,618
投資有価証券評価損益 (△は益)	21
固定資産売却損益 (△は益)	△394
固定資産処分損益 (△は益)	0
売上債権の増減額 (△は増加)	239,916
たな卸資産の増減額 (△は増加)	93,768
その他の資産の増減額 (△は増加)	△18,237
仕入債務の増減額 (△は減少)	△64,294
その他の負債の増減額 (△は減少)	29,192
小計	461,154
利息及び配当金の受取額	2,475
利息の支払額	△11,031
法人税等の支払額	△7,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	444,937
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△69,898
有形固定資産の売却による収入	394
無形固定資産の取得による支出	△627
投資有価証券の取得による支出	△182
その他の支出	△6,458
その他の収入	624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000
長期借入金の返済による支出	△92,147
長期借入れによる収入	100,000
社債の償還による支出	△20,000
リース債務の返済による支出	△1,316
配当金の支払額	△11,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△324,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	30,331
現金及び現金同等物の期首残高	397,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	427,746

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期累計期間(平成20年3月26日～6月25日)

科目	前年同四半期 (平成21年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,019,552
II 売上原価	2,308,288
売上総利益	711,263
III 販売費及び一般管理費	554,200
営業利益	157,062
IV 営業外収益	114,552
V 営業外費用	42,925
経常利益	228,689
VI 特別利益	—
VII 特別損失	536
税引前四半期純利益	228,152
税金費用	1,915
四半期純利益	226,236

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間(平成20年3月26日～6月25日)

	前年同四半期 (平成21年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	228,152
減価償却費	55,748
減損損失	536
賞与引当金の増加額	29,846
退職給付引当金の増加額	3,232
リコール損失引当金の減少額	△642
受取利息及び受取配当金	△1,516
支払利息	14,203
為替差益	△680
固定資産処分損	0
売上債権の減少額	178,078
棚卸資産の増加額	△217,881
その他資産の増加額	△39,805
仕入債務の減少額	△20,247
その他負債の減少額	△241,100
小計	△12,075
利息及び配当金の受取額	1,461
利息の支払額	△12,412
法人税等の支払額	△14,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	△37,351
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△49,483
無形固定資産の取得による支出	△905
投資有価証券の取得による支出	△182
その他の投資活動による支出	△3,069
その他の投資活動による収入	551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,088

	前年同四半期 (平成21年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△55,000
長期借入金の返済による支出	△106,511
社債の償還による支出	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,511
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	680
V 現金及び現金同等物の増加額	△271,270
VI 現金及び現金同等物の期首残高	553,802
VII 現金及び現金同等物の期末残高	282,532